

## 化学人材育成プログラムのご紹介

### ◆趣旨◆

我が国の化学産業が国際競争力を維持、向上させていくためには、より高い研究開発力の追求が不可欠であり、高い専門性と幅広い周辺知識を持ち、課題の設定及び解決能力を兼ね備えた高度研究人材の必要性がこれまで以上に高まっています。

一方、特に理工系の博士人材については、産業界が求める人材と大学教育により育成される人材との間にミスマッチが生じており、産業界による博士人材の積極的採用や優秀な人材の博士後期課程への進学に際して障害となっているとの議論があります。

こうした中、化学産業を巡る諸課題への対応方策を検討する「化学ビジョン研究会」が経済産業省により設置され、2010年4月、そのアウトプットのひとつとして、「化学人材育成プログラム」の創設が提言されました。このプログラムは、産業界のニーズに合致した博士後期課程等のカリキュラムを整えた専攻を支援対象として選定し、産業界がその専攻等へ進学する優秀な学生を奨学金により経済的に支え、その後の進路も積極的に支援することを目的としたものです。

これを受けて一般社団法人日本化学工業協会は、「化学人材育成プログラム」を創設し、化学産業が大学に求める人材ニーズの発信と、これに応える大学の支援活動を行っています。

「化学人材育成プログラム」では、化学企業が望ましいと考える博士後期課程の教育カリキュラムを持つ大学院専攻を公募・選定し、選定された大学院専攻については、就職支援等を含めたトータル支援を行います。また、その中から特に優れた専攻に対しては、博士後期課程学生を対象に奨学金の給付を行います。

### 支援内容

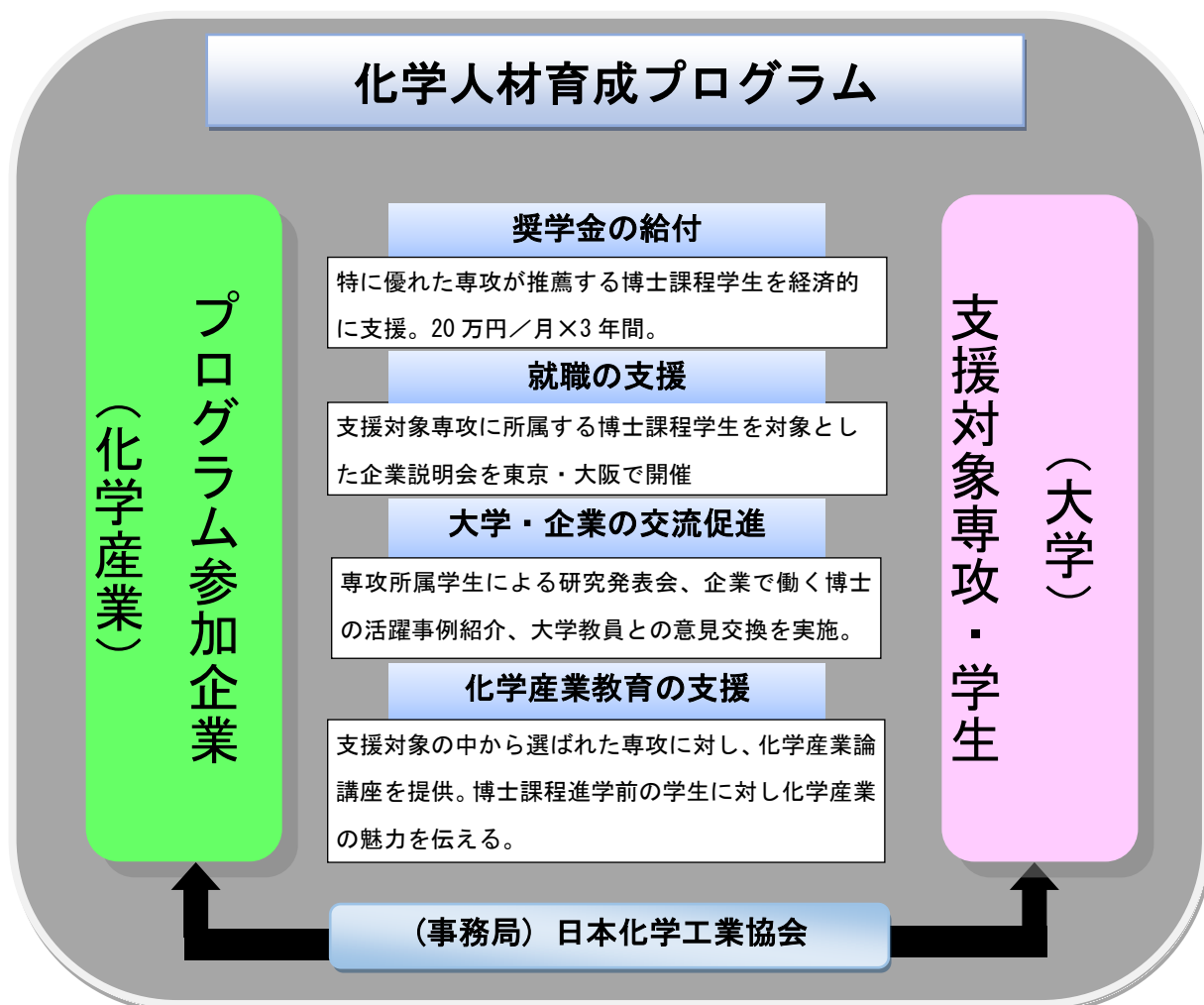
化学人材育成プログラムは、支援対象に選定された専攻に対し、以下の支援を行います。支援期間は、支援対象に選定された翌年から6年間です。

1. 奨学金の給付：支援専攻の中から、特に優れた人材育成の取組みを行っている専攻を選定し、各専攻から推薦された学生に対して奨学金を給付します。
2. 就職の支援：支援専攻に所属する博士課程学生に対し、企業活動の理解浸透及びキャリアデザインの情報提供を行う就職イベントを開催します。
3. 大学・企業の交流促進：学生の研究活動発表、企業で働く博士の活躍事例紹介を通じ、大学と企業の相互理解を進めます。
4. 化学産業教育の支援：化学産業の魅力を伝え、化学産業が求める技術系人材像、キャリアパス等を学生に発信する講義を提供します。

## ◆概要◆

『化学人材育成プログラム』は、経済産業省の「化学ビジョン研究会」が2010年4月にまとめた報告書の提言を受け、同年10月に日化協が創設したものです。日本の化学産業における国際競争力の強化と産業振興の基盤となる若手人材の育成を目的に、化学産業が大学に求める人材ニーズを発信し、これに応える大学専攻とその学生を産業界が支援することを目的としています。

『化学人材育成プログラム』を進めるにあたっては、日化協内に「化学人材育成プログラム協議会」（参加企業33社）が設置され、参加企業による寄付金をもとに実際の支援活動が行われています。



## ■対象

全国の大学院化学系専攻（博士後期課程）で、① 特定分野に関する深い専門性に加え、幅広い基礎的学力を持つ人材、産業界で役立つ基礎知識（知的財産、原価計算、化学物質の安全管理に関する知識に加え AI,MI を活用できるデータサイエンスに関する知識）を習得できている人材、② 課題設定能力に優れ、解決のために仮説を立てて実行できるマネジメント能力を持った人材、③ リーダーシップ、コミュニケーション能力に優れた人材、④ グローバルな感覚を持った人材など、化学産業が望ましいと考えられる人材を育成する博士後期課程の教育カリキュラムを持つ大学院専攻。

## ■支援内容

1. 奨学金の給付：特に優れた支援対象専攻<sup>(注)</sup>から推薦された学生に対して、1名あたり月額20万円の奨学金を3年間支給します。推薦は、1専攻あたり1名/年で、3年間推薦可能です。(注) 該当する専攻の名称は公表しません。
2. 就職の支援：支援専攻の博士後期課程学生を対象とした企業説明会を、東京、大阪で開催します。会員企業によるブース出展、参加学生によるポスター発表、及び懇親会開催し、学生と企業の間を取り持ちます。
3. 大学・企業の交流促進：支援専攻と会員企業との交流を深めるため、化学人材交流フォーラムを開催します。ここでは、企業、学生その他、大学教員にも参加していただき、奨学生による研究発表、企業で働く博士の活躍事例報告及び意見交換を通じて、産学の相互理解を促進します。
4. 化学産業教育の支援：化学人材育成プログラムが企画する「化学産業論講座」を大学に提供<sup>(注)</sup>しています。「化学産業論講座」は、「学問としての化学が化学産業にどのように結びついているか」をテーマに、実際に企業で活躍する講師が、化学産業の「過去」・「現在」・「未来」と、「今、何を学ぶべきか」を学生に語りかけます。(注) 開講先は、講師数の制約により支援対象の一部に限定。定期的に見直し。

## ■化学人材育成プログラム協議会について

『化学人材育成プログラム』を進めるにあたり、事務局として日化協内に「化学人材育成プログラム協議会」(以下参照)を設置しました。実際の支援は、参加企業による寄付金をもとに賄われています。

|           |  |       |   |
|-----------|--|-------|---|
| 会 長       | 森川 宏平 (日本化学工業協会 会長、昭和電工株式会社 代表取締役社長)   |       |   |
| 会 長 代 行   | 酒井 浩志 (昭和電工株式会社 取締役執行役員 最高技術責任者)   |       |   |
| 幹 事 会     | 会長の委嘱を受けた幹事会委員により構成し、事業計画案、予算案等を作成   |       |   |
| 審 査 委 員 会 | 会長の委嘱を受けた会員企業が選出した審査委員並びに会長が委嘱した有識者委員により構成し、化学産業が望ましいと考える教育及び人材育成を行っている大学院専攻を支援対象に選定 |       |   |
| そ の 他     | 必要により作業部会を設置   |       |   |
| 後 援       | 経済産業省  | 文部科学省 | 公益社団法人日本化学会<br>公益社団法人化学工学会<br>公益社団法人高分子学会 |

|          |             |             |             |
|----------|-------------|-------------|-------------|
| 旭 化 成    | A G C       | A D E K A   | 宇 部 興 産     |
| 花 王      | カ ネ カ       | ク レ ハ       | 三 洋 化 成 工 業 |
| 昭 和 電 工  | 信 越 化 学 工 業 | J S R       | E N E O S   |
| 住 友 化 学  | 住 友 ベークライト  | 積 水 化 学 工 業 | ダ イ セ ル     |
| D I C    | デ ン カ       | 東 亞 合 成     | 東 ソ ー       |
| 東 レ      | ト ク ヤ マ     | 日 油         | 日 産 化 学     |
| 日 東 電 工  | 日 本 化 薬     | 日 本 触 媒     | 日 本 ゼ オ ン   |
| 日 立 化 成  | 富 士 フイルム    | 三 井 化 学     | 三 菱 ガス 化 学  |
| 三 菱 ケミカル |             |             |             |

(2020年7月現在、株式会社省略)

■2020年度支援対象17専攻（太字は2020年度から支援対象となる専攻）

北海道大学大学院 総合化学院 総合化学専攻

東北大学大学院 理学研究科 化学専攻

東京大学大学院 理学系研究科 化学専攻

東京大学大学院 工学系研究科 化学システム工学専攻

東京大学大学院 工学系研究科 応用化学専攻

**東京大学大学院 工学系研究科 化学生命工学専攻（再）**

**東京工業大学大学院 物質理工学院 応用化学系（再）**

早稲田大学大学院 先進理工学研究科 応用化学専攻

横浜国立大学大学院 理工学府 化学・生命系理工学専攻

**長岡技術科学大学 工学研究科 エネルギー・環境工学専攻（初）**

京都大学大学院 工学研究科 材料化学専攻

大阪大学大学院 工学研究科 応用化学専攻

**大阪大学大学院 理学研究科 化学専攻（再）**

大阪市立大学大学院 理学研究科 物質分子系専攻

奈良先端科学技術大学院大学 物質創成科学研究科 物質創成科学専攻

**九州大学大学院 工学府 物質創造工学専攻（再）**

九州大学大学院 理学府 化学専攻

\* （再）は再応募・再採用、（初）は初応募・初採用